



“積極進取！”



～ 図書館を活用しよう !! ～

生徒諸君は年間何冊本を読むでしょうか？読書をするものの効用は①創造力が磨かれる②仕事や日常のヒントをもらえる③視野が広がる④教養が磨かれる⑤読解力が高まる⑥知識が増える⑦ボキャブラリーが増える⑧メタ認知能力が高まるなど、まさにいいことづくめのように感じます。

本県高等学校全体の令和元年度平均貸出冊数は8.2冊です。ところが那覇高校の平均貸出冊数は5.08冊で県平均を下回っていますが、本校生徒の個人最高貸出冊数は160冊でしっかり図書館を活用している様子が伺えます。しかし、全体的にはあまり読書をしていない感が否めない状況です。

そこで、図書館司書の李英帆先生が中心となり本校HPより蔵書検索、貸出申込及び購入してほしい本をリクエストすることができる等、簡易に行えるシステムを導入しました。このシステムは民間会社が「COVID-19：学校図書館支援プログラム」を無償で提供しているシステムで、これを導入している学校は今のところ本校と県立高校他1校のみです。是非このシステムを活用し読書に親しむ習慣を身につけてほしいと思います。



読書の秋

話は変わりますが、本校図書委員会の活躍も紹介したいと思います。9月18日の“しまくとぅばの日”にちなんで、1年生が“しまくとぅばで名台詞ポスター”と“黄金言葉(クガニクトゥバ)カレンダー”を作成。2年生がうちなぐちを紹介する掲示物の作成に取り組みました。校内のあらゆる場所に掲示され生徒のみならず先生方や事務のみなさんからも好評でした。

今週あたりから図書委員による平和資料展を開催する予定で、日本各地の戦争被害等について壁新聞掲示に取り組んでいます。生徒のみなさん図書館に足を運んでみませんか。 校長

～ コツコツが勝つコツ！～

中間テストが終わりました。生徒のみなさんはその出来映えに一喜一憂する1週間となりそうです。大切なことは結果を振り返り、今後の自らの在り方に活かしていくことだと思えます。

校内を見渡してみると7月に行われた全国記述模試の成績上位者が張り出され、生徒たちの注目を集めています。また、放課後自学自習室の後期利用希望者を募集したところ1、2年生の自習室に例年の約2倍、90名の生徒が応募してきました。進路指導部の先生方が急遽自習室を増やして生徒たちの学習を支えていこうと取り組んでいます。特に2年生の意識が高く、90名中67名が2年生です。

徐々に暑さも落ち着き秋めいてきました。勉強をする雰囲気をみんなで高めてほしいと思います。場当たりの勉強はすぐに忘れてしまいます。日頃からコツコツ取り組んで得た力は必ずや蓄積され将来に結びつきます。“文武両道”を校是としている那覇高校ですので生徒諸君の粘り強い取り組みに期待しております。 校長

*** 校長雑感 ***

バイクでマックへ行った。駐輪場が満杯で“テイクアウトだから短時間で済む”と判断し駐車場の一角に止めて戻ってくると「お兄さん、ここに止めたら車で来る人に迷惑だよ」と30代くらいの男性に注意された。“確かに駐車しにくくなるかも”と思い「すみません」と謝ったら「今の人たちは人の迷惑考えないから」とたしなめられた。とても恥ずかしい思いをした。

～～～ 時の言葉 ～～～

「逆にあなたは何を受け取りましたか？
私はみんなに考えてほしかった」



(大阪なおみ)

全米オープン女子シングルスで優勝を果たした時のインタビューでの言葉。「マスクであなたが伝えたかったことは？」の問いかけにこの言葉で逆質問をしました。差別の問題は根深くこの世界にも存在しますが、このことの無意味さをみんなで考え、行動を起こすことの大切さを示しました。大阪選手は「世界で最も影響力のある100人」に選ばれています。 校長

～百十周年記念式典！～

10月17日(土)に県立二中・県立那覇高校創立百十周年記念式典が行われます。

当初は県立武道館で盛大に行うの予定でしたが、コロナウイルス感染防止の観点から本校大講堂で参加人数を最小限に抑えて行われます。生徒のみなさんは各教室でリモートでの参加となります。

式典終了後は記念講演で元東京大学副学長の南風原朝和氏(那覇高校25期生)による「高校入学から半世紀～学びの振り返りと後輩へのエール～」と題して講演があります。

式典の様子は当日YouTubeでどなたでも見ることができますのでご期待下さい。 校長